

# 発達障害者の生涯にわたる支援 をどう保証するか



発達障害はその特性が生涯にわたり継続するため、支援も生涯継続する必要がある。しかし現状では成長に従い、医療・福祉・教育・労働とそれぞれに支援する機関・組織、支援者が異なる。実際には当事者の状況で支援が継続することも稀であり、情報が引き継ぐことも難しく、その都度スクリーニングが行われている。

福井県では「切れ目のない支援」を掲げており、支援者や支援機関が変わろうとも同じ質の支援が得られる体制を社会として用意し、生涯を通じてこれまでの成長・支援歴を受け継いでいくことが必要だろう。

今回のシンポジウムでは、様々な立場で発達障害児者と長期間にわたり関わってきた大学教員から話題提供をしてもらい、その後年齢に関わりなく支援を行う立場にある方々から支援の現状をお話しいただく。それらの話題の中から、有効な支援が継続していくにはどうすればよいのか、あるいは支援継続を誰が担うべきかについて議論したい。その中で、生涯支援をマネジメントする人あるいは機関には誰がなるべきかについて示唆を得たい。

■日時 令和3年10月31日（日）14：00～16：00

■スケジュール

14:00～14:05 開会の挨拶および開催趣旨説明 清水聡（福井県立大学、JDDnet福井代表）

14:05～14:35 話題提供1 発達障害者の発達段階毎の課題と支援者の役割  
～縦断的に関わり続けることの大切さ～ 清水聡(福井県立大学)

14:35～14:55 話題提供2 相談支援専門員の立場より 望月陽子（NPO法人Bumps代表）

14:55～15:15 話題提供3 発達障害児者支援センター相談員の立場より  
野村 昌宏（スクラム福井 副センター長）

休憩(10分)

15:25～15:55 総合討議 「途切れなく関わり続ける仕組みをどう作るか」  
司会 永井弘明（JDDnet福井事務局長）

15:55～16:00 閉会の挨拶(永井弘明)

参加費無料 要事前登録 100名

主催：日本発達障害ネットワーク福井（JDDnet福井）

共催：NPO法人はるもにあ 後援：福井水仙ロータリークラブ

## JDDnet福井 令和3年度シンポジウム 参加申込方法

- ①シンポジウムは新型コロナ感染予防のために全てオンライン（ZOOM）を用いて行います。
- ②シンポジウムへの視聴にはカメラ等を付けたデスクトップパソコン/ノートパソコン/タブレット/スマートフォンが必要です。事前にZOOMの視聴試験を行いますので、初めての方はご参加ください。日時は参加される方に後日お知らせします。
- ③当日、zoom利用上の理由で視聴出来ない場合でも、当方は責任を負えません。
- ④申し込みは全てメールでお願いします。電話、FAXでの申し込みは出来ません。
- ⑤申し込み先 nagaimachinaka@ybb.ne.jp
- ⑥先着100名で打ち切ります。
- ⑦メールでの申込内容  
氏名（ニックネームは不可）、団体または住所、メールアドレス
- ⑧こちらから、受け付けましたとのメールがあった人のみ参加できます。
- ⑨参加される人にはオンラインシンポジウムに参加できるURL、会議名、パスワード等をお送りいたします。これらを申込者以外に伝えないでください。事前に参加登録、承認されていない人は当日参加を認めません。
- ⑩このシンポジウムは録画をいたしますが、JDDnet福井の会員団体及びJDDnet福井が認めた人以外は視聴できません。
- ⑪受付開始 令和3年10月12日
- ⑫受付終了 登録者が100名に達した時点

問い合わせ先 JDDnet福井事務局(永井090-6275-0876)